

木彫による造形研究 「フォームを求めて」～2019 クロッキー&ドローイング

岩井 義尚 *IWAI Yoshinao*
(美術領域)

作品の形の素は、「自然のモノをデッサンしていると、その源は球体、それも機械的な球体ではなく、心地良い球体の単体又は複合体である」と考える。私の創作は、この考えを基に「視覚に訴えかけるのに重要である水平要素・垂直要素そのものが創り出す空間」を使い構成している。



スカイワードあさひ (愛知県尾張旭市)
2020年2月25日(火)～3月21日(土)
9:00～17:00 休館日;3月17日(火)
※新型コロナウイルスのため3月4日より休館

テーマ;「動き」「流れ」「生」「種」

立体作品における制作は、テーマからイメージし、形の根源を動物(人も含む)・植物・自然現象から創作要素を探り、構成を考慮し、素材(木)を彫ることにより形(Form)を創り出す手法で具現化した単体又は集合体で表現している。

平面作品は、ペンで描く多くのフリーハンドの線の重ねにより、人物を構成し、立体作品に影響するエスキースの要素を含むドローイングと人体クロッキー(各種描画素材)により、テーマを表現する研究をしている。



Form 1009 「遊No.5」
H143×W44×D51 クス

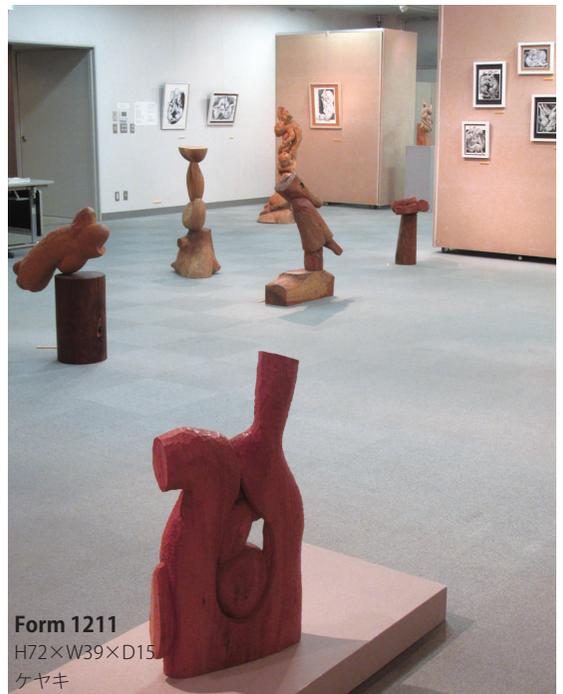


Form 1304 「遊No.9」 H79×W50×D80 クス

2010年から公募団体の「中部二公会」に所属して（3年間は個展と並行して行く）、愛知県立美術館、名古屋市博物館、東桜会館、市民ギャラリー栄等で作品の発表を行っていたが、2019年10月にある方の紹介により、スカイワードあさひ（愛知県尾張旭市）にて、7年ぶりに個展を行う事となる。

会期が2020年2月25日（火）～3月21日（土）であったが、新型コロナウイルスの影響にて、会場の「スカイワードあさひ」が3月4日（水）より休館となり・・・四週間開催予定が一週間（8日間）のみ・・・いろいろと印象深い個展となった。

展覧会のタイトルを、「フォルムを求めて」～2019・クロッキー&ドローイング・として、出品作品は、木彫による立体とレリーフが、1990年から2018年の間で41点。ドローイングが、2012年から2020年までの26点（額装）。それと最近始めた、和紙を使用し描画材に鉛筆や筆ペン（ブラッシュ）で描いた巻物の様なクロッキー2枚の合計作品数が69点となった。



Form 1211
H72×W39×D15
ケヤキ



Form 0705 H186×W84×D9 ケヤキ+他

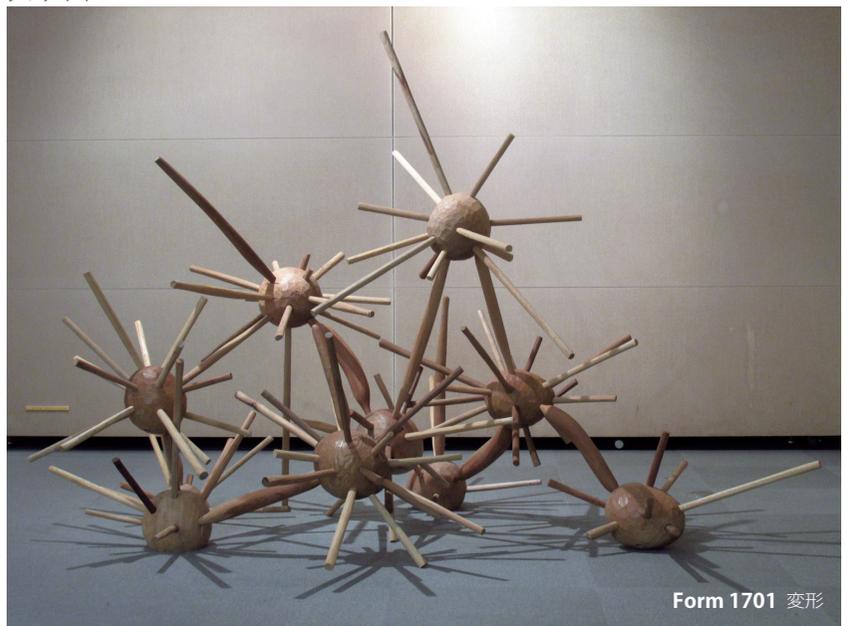
「Form 0705」は櫂の板材2枚を使用して真中で繋げ、波（流れ）を意識している。



Form 0507

H61×W40×D16
クリ+ケヤキ

「Form 1701 変形」は元々このカタチでは無く、第39回中部二元会（下の画像）へ出品した作品の変形で、海の中の生物その物を、核と触覚の棒を組むことにより様々なカタチになる面白さを体験して貰いたい作品である。



Form 1701 変形



Form 1705 H40×W46×D35
クス+ケヤキ

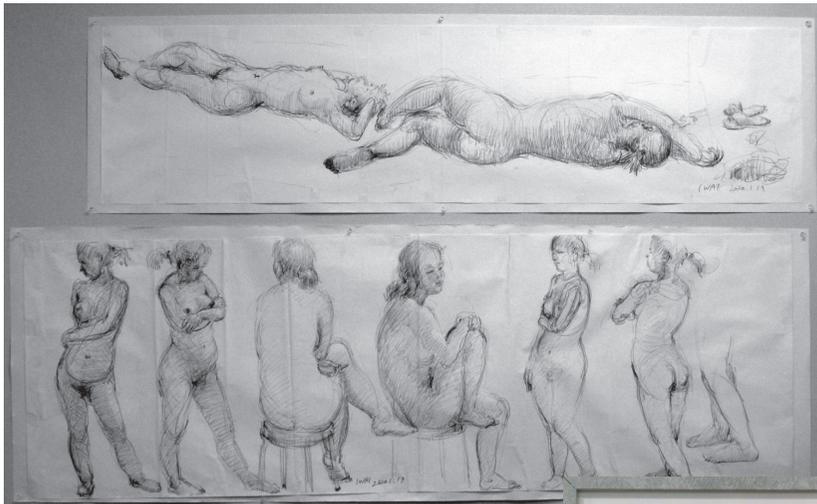
Form 0702 H69×W38×D20
キハダ+ケヤキ

「Form 1705」「Form 0605」及び、2ページ目の、Form 1009「遊No.5」やForm 1304「遊No.9」も同様に以前に描いたアイディアスケッチを基に、原木のカタチを見てからフォルムを考え直した作品である。「遊」シリーズの基のアイディアは1988～89年頃のモノを用いている。

「Form 0702」の原材料は、木肌（キハダ）という木を使い制作している。材料種類は、樟（クス）・榿（ケヤキ）・栗（クリ）・檜（ヒノキ）・桑（クワ）・桂（カツラ）・胡桃（クルミ）、部分で紫檀（シタン）も使用。

Form 0605 H93,5×W66×D41
ケヤキ

Form 0301 H81×W62×D43
ケヤキ



クロッキー

和紙に鉛筆

(ドローイングシャープペンシル)

中部二元会研究会 (クロッキー) 及びク
ロッキー会「Art of 20 歩」を指導しなが
ら描いている。ドローイングと合わせて
中部二元会研究展、「Art of 20 歩」作品展、
「ちゅうしんアートギャラリー」にて発表
を行う。

紙サイズ

上; H35×W200

下; H65×W230



ドローイング

水彩紙にドローイング
ペン (ピグマ、ロット
リングペン)

立体又はレリーフのアイ
ディアスケッチとして
描いている。

額サイズ

インチ、八つ、

太子サイズ



Form 0403

H93×W65×D39

ケヤキ



Form 0007

H105×W41×D31

ケヤキ

形シリーズ 1990

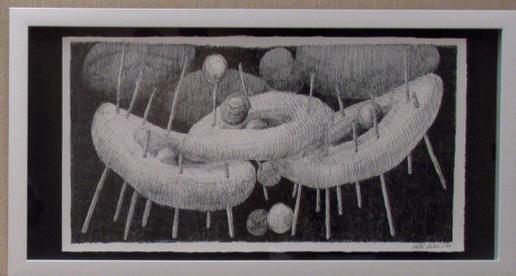
H135×W29×D16

クス

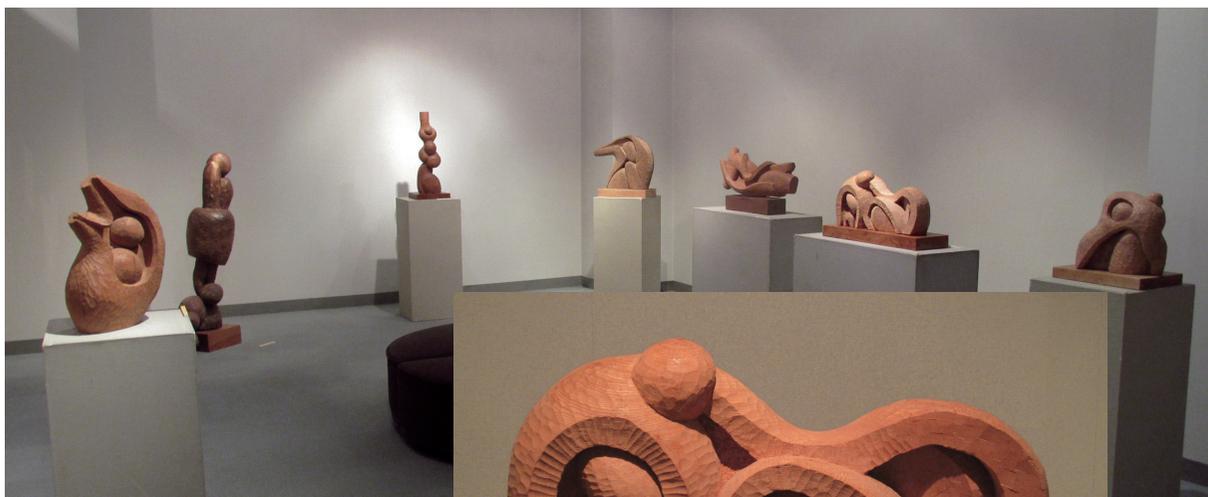
Form 0502

H97×W24×D20

クス+ケヤキ



ドロ잉グ 額サイズ：H30×W60
水彩紙にドロ잉グペン（ピグマ、ロットリングペン）
立体又はレリーフのアイディアスケッチとして描いている。



Form 1805
H37×W61×D20
ケヤキ

「Form 1804」「Form 1805」は同じ材料の樺（ケヤキ）材から、人のカタチをドロ잉グしたアイディア・人の内面シリーズ・作品である。4ページの「Form 0605」も同様の意識で制作している。

「形-X X 1992」は、珍しい材料の桑（クワ）の枝分かれした原木手に入れ、思考後、木を逆さまにすることで「動き」が意識出来るフォルムしている。



Form 1804
H37×W30×D20
ケヤキ



形-X X 1992
H130×W46×D40
クワ+マツ